

## 地域・保護者・学校関係者への教育長メッセージ ③ 『教育長２期目に向けて』

以下は9月議会で、教育長の再任をお認めいただいた時の挨拶の要約です。

議長にお許しをいただきましたので、一言ご挨拶をさせていただきます。

令和元年の十月に、武藤前教育長からバトンを引き継ぎ、教育長になりました。年明けには新型コロナの感染が広がりましたので、まさにウィズ・コロナとの三年間でした。この三年間、議会の皆様初め、市民の皆様の皆様のご支援・ご協力をいただきながら、「子どもたち、保護者、教職員の命最優先」で教育行政を進めて参りました。

本日はこれから教育長として次の三年間の任期中に何をめざし、どのように取り組んでいくかについて二点お話をしたいと思います。

第一点は「魅力ある津島の教育」を進めたいと思います。きらりと光る津島の教育を推進します。「教育が魅力的だから津島のまちに移り住みたい」、五年先十年先を見通した「子ども子育て応援都市 つしま」を目指します。具体的には①人型ロボットによるICT教育(プログラミング教育)②名古屋にある領事館を窓口とした国際交流活動③基礎体力向上をめざす縄跳び・地元のスポーツレジェンドの講演会④郷土愛を育てる「津島の達人ジュニア歴史検定(ふるさと学習)」、「祭りを学ぶ」(伝統文化の継承)、家庭防災の日を活用した防災学習などに取り組んでいきます。これらの取組のため、コミュニティースクールを立ち上げ、地域人材や学生ボランティアを積極的に活用します。

第二点は「津島っ子、誰一人取り残さない教育」をめざします。子どもたちの心の居場所づくりを進めます。そのため市教育支援センターと市家庭児童相談室、日本語教室『FUJICA』と連携・協力し、不登校・外国人児童生徒・問題行動の対策を充実させたいと思います。丁寧に取り組んできた就学前指導や特別支援教育へのアドバイスに加え、不登校児童生徒へのアウトリーチ型の取組、SSWの導入など不登校対応を手厚くしていきます。放課後子ども教室の充実で、子どもたちの心の居場所づくりにも力を入れていきます。

学校施設整備については、普通教室へのエアコン設置、トイレの洋式化、武道場吊り天井撤去など、子どもたちの命最優先、安心安全を第一に取り組んできました。引き続き市の長寿命化計画に基づく学校体育館の改修、照明器具のLED化、更に計画的な学校施設の修繕に取り組めます。またICT教育では一人一台タブレットに続き、ロボホンやレゴブロックなど人型ロボットを全国最大の規模で導入していただきました。まさにロボットによるプログラミング教育の魁です。マスコミはじめ研究者・保護者の皆さんから、ホットな視線を浴び、話題となる事と思われまます。

私自身、本日教育長に選任していただきましたことに恥じぬよう、津島市の子どもたちのため、津島市の教育発展に尽くしてまいります。議会の皆様にご理解・ご支援をいただき、「魅力的で、きらりとひかる津島の教育を進めていく所存です。以上、私の所信とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

令和4年10月11日